

新型コロナワクチンについて（5～11歳）

ワクチン接種を受ける前に

- 1 このワクチンは新型コロナ（SARS-CoV-2）による感染症（COVID-19）の予防・重症化を防ぐことを目的としております。これまでの米国の小児に対するワクチンの発症予防効果は90%以上と短期的効果は示されていますが、日本の小児やオミクロン株などの変異ウイルスに対する有効性はまだ十分得られておりません。しかしワクチンは個人と社会を守ります。日本の小児が感染した場合、重症化するリスクは極めて少ないものの、小児の兄弟・両親・祖父母の社会生活にも影響を及ぼします。また基礎疾患をもっている小児が感染しない、させないためにも、5～11歳の小児に接種する意義はあると思われます。
- 2 このワクチン（ファイザー社製：コミナティー）は5歳から11歳までの小児に3週間あけて2回接種します。接種量は成人や12歳以上の小児とは異なり、成人の2/3の量0.2mlで、その中に成人の1/3量のワクチン成分が含まれています。接種方法は今まで定期接種で受けていた皮下接種とは異なり筋肉内接種で、接種部位は成人と同様、上腕の三角筋（肩より少し下の筋肉）です。肩を出しやすい服装で来院して下さい。

ワクチン接種を受けた後に

- 1 ワクチン接種後15分はクリニック内あるいはクリニック近辺に待機して下さい。各自スマホなどでタイマーを15分設定し、15分経過してから帰宅をお願いします。
- 2 ワクチン接種を受けた日は激しい運動や遊びは避けて下さい。入浴・シャワーは行って構いません。
- 3 ワクチン接種後に見られる副反応
米国での小児への接種報告によれば、接種部位の疼痛は約50～60%、発熱は約10%前後でした。倦怠感、頭痛は10～20%ですが、医療的ケアを要したのは1%とされています。これらは12歳以上の小児の副反応より軽症で、2～3日で軽快することがほとんどです。
- 4 接種後気になることがありましたら受診して下さい。